

平成24年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成24年、東京都に新たに報告されたHIV感染者とAIDS患者は461件となり、過去5位であった。
- ・AIDS患者は平成23年には過去10年間で最も少ない報告数であったが、平成24年は再び増加した。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者で約37%、AIDS患者は約21%であった。
- ・国籍別、性別のHIV感染者とAIDS患者報告数をみると、日本国籍の男性の割合が高く全体の約88%を占めている。
- ・推定感染経路別にみると、HIV感染者の約92%、AIDS患者の約78%が性的接触であり、同性間性的接触が多い。
- ・年齢別にみると、HIV感染者報告数は20歳代と30歳代が多く、AIDS患者報告数は30歳代と40歳代に多い。
- ・推定感染地域をみると国内が多い。
- ・ニューモシスティス肺炎の発症を契機とするAIDS患者報告が多く、AIDS患者報告数の約6割を占めている。



相談・検査・療養体制

- ・平成24年、エイズ電話相談件数は、「東京都エイズ電話相談」が昨年より増加したが、都内保健所では減少が続いている。
- ・「東京都エイズ電話相談」の相談者は男性が多く、20歳代と30歳代が多い。相談内容は感染不安や感染経路に関するものが多い。
- ・平成24年、HIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室ともに減少した。一方、陽性件数、陽性率は、特別区保健所及び南新宿検査・相談室は前年と比べ増加し、多摩・島しょ地域保健所は減少した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成24年ではHIV感染者とAIDS患者の累積報告数の約4分の3となっている。
- ・梅毒の陽性率は男性が高く、クラミジア、淋菌の陽性率は女性が高い。

本「AIDS News Letter No.145（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成24年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV／エイズ電話相談」に名称変更している。

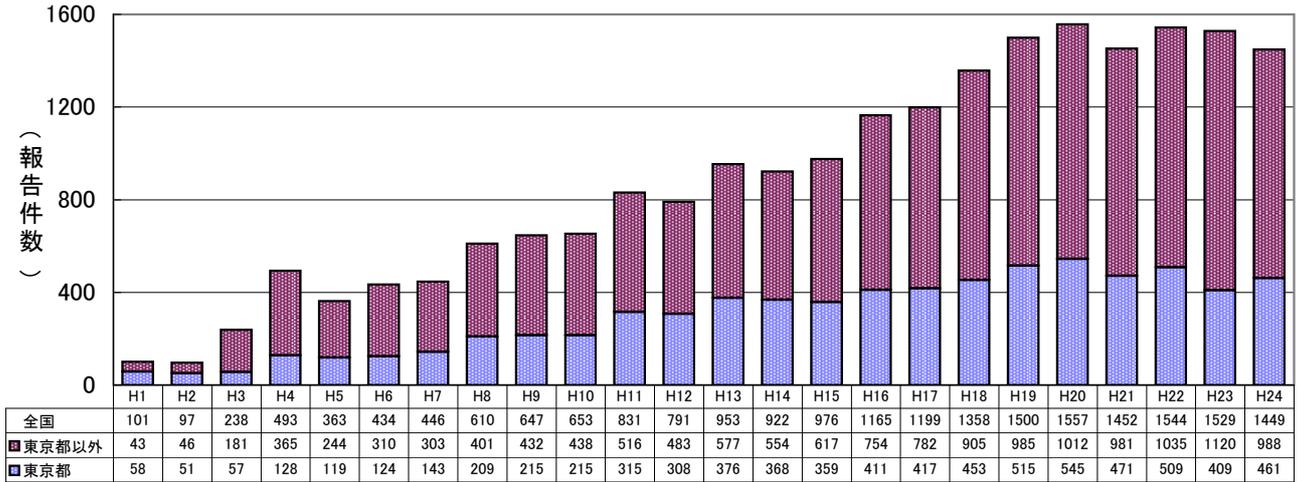
目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成24年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告数（平成24年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成24年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	エイズ電話相談	東京都のエイズ電話相談件数年次推移
	2-2	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別（平成24年）
	2-3	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成24年）
P.11	2-4	エイズ電話相談	「東京都エイズ電話相談」の相談内容（平成24年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成20年～平成24年）
P.13	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成24年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2011年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2012年末現在（厚生労働省）		

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

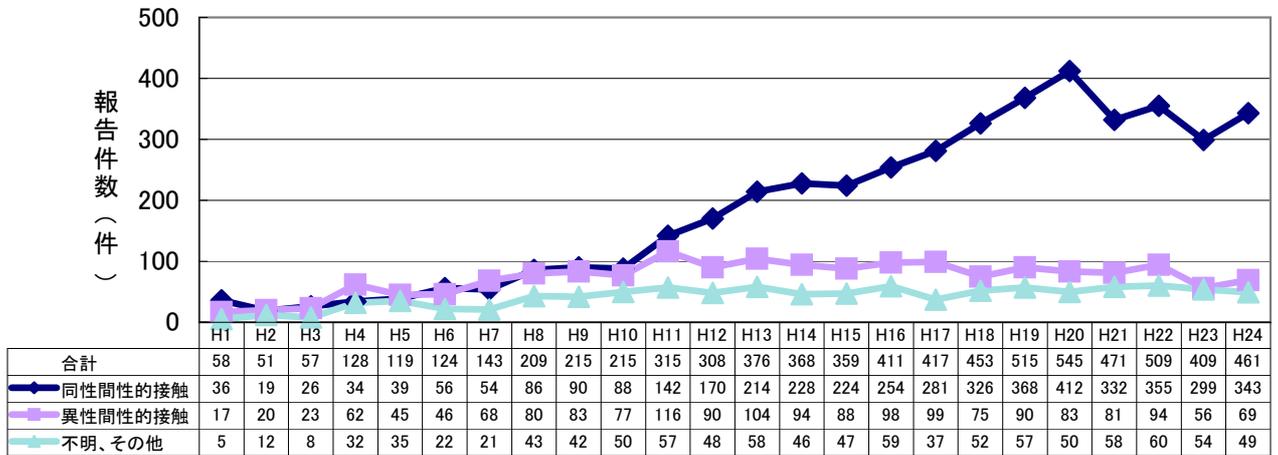
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1
東京都と全国の報告数
年次推移



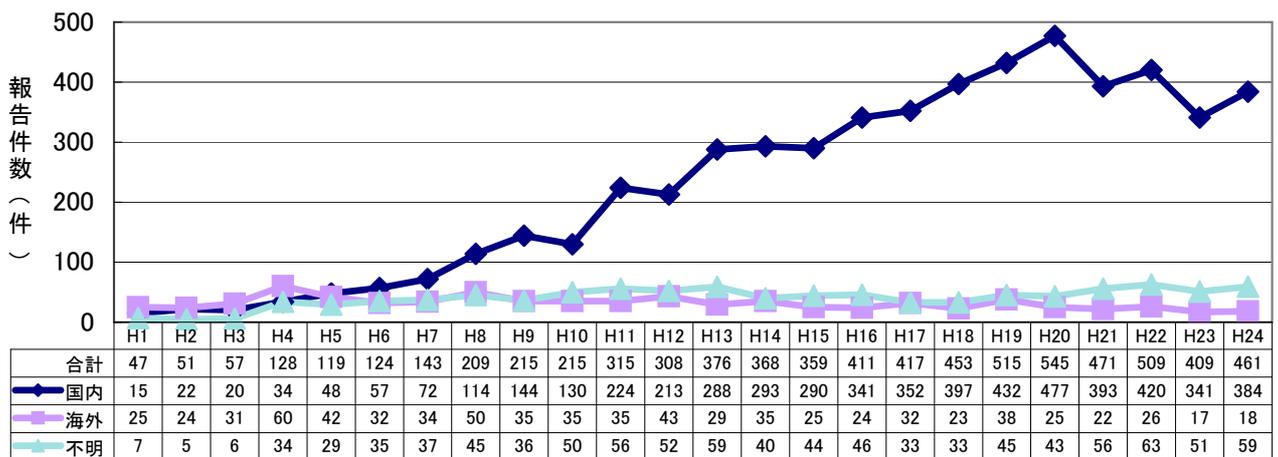
東京都は前年と比べ報告件数が増加、東京都以外は減少した。全国で見ると、9年連続で1,000件を超えた。

1-2
東京都の推定感染経路別報告数
年次推移



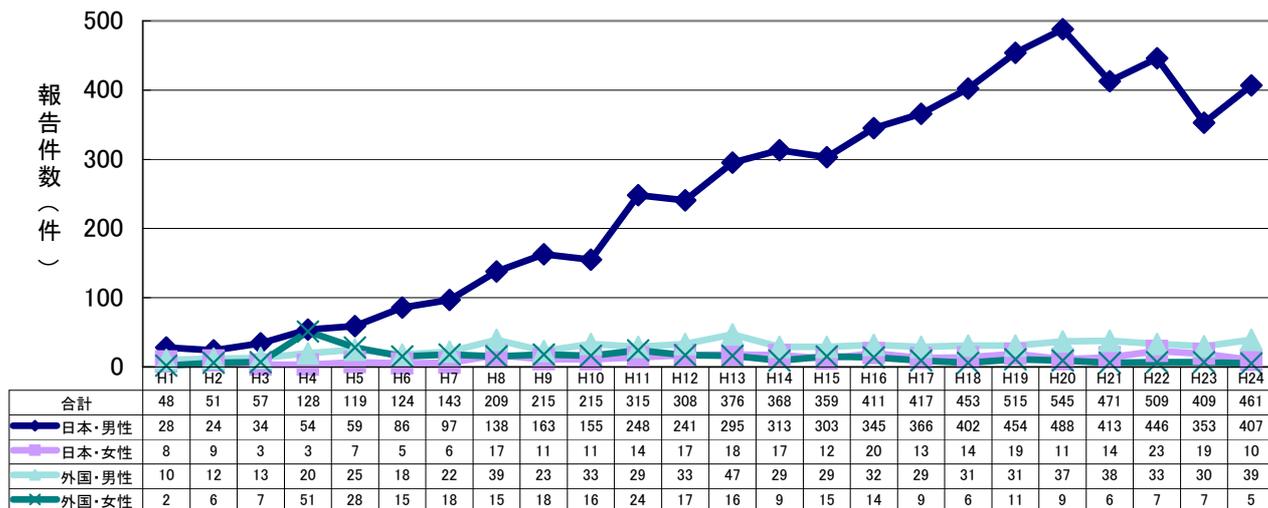
同性間性的接触による報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年と比べ、44件増加した。異性間性的接触は、この数年は横ばい傾向となっている。

1-3
東京都の推定感染地別報告数
年次推移



国内の推定感染地報告は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年より43件の増加であった。海外の推定感染地報告はこの数年、横ばいから減少傾向に転じている。

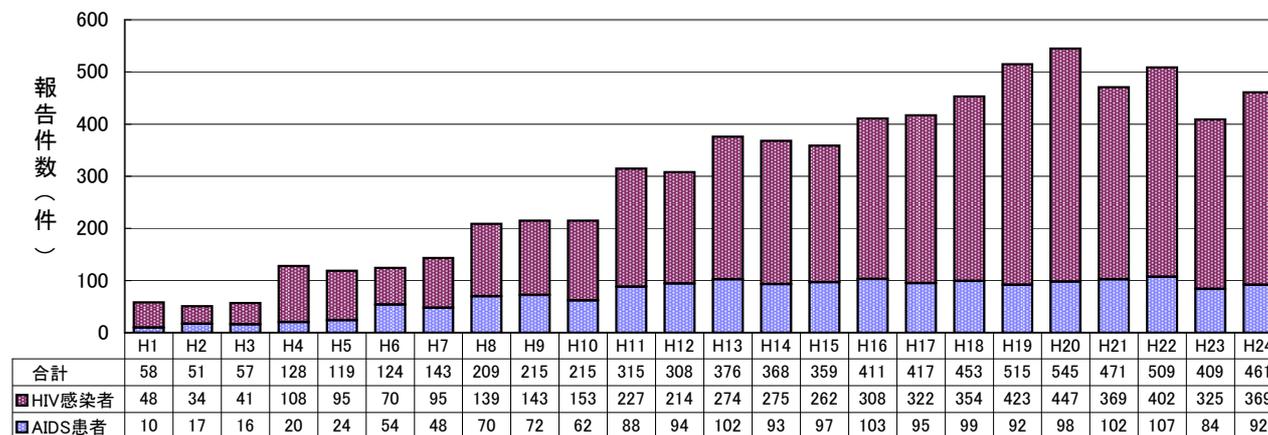
1-4
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



日本国籍男性の報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年に比べ、54件増加した。また、外国籍男性の報告数も前年に比べ増加した。日本国籍女性の報告数は減少傾向である。

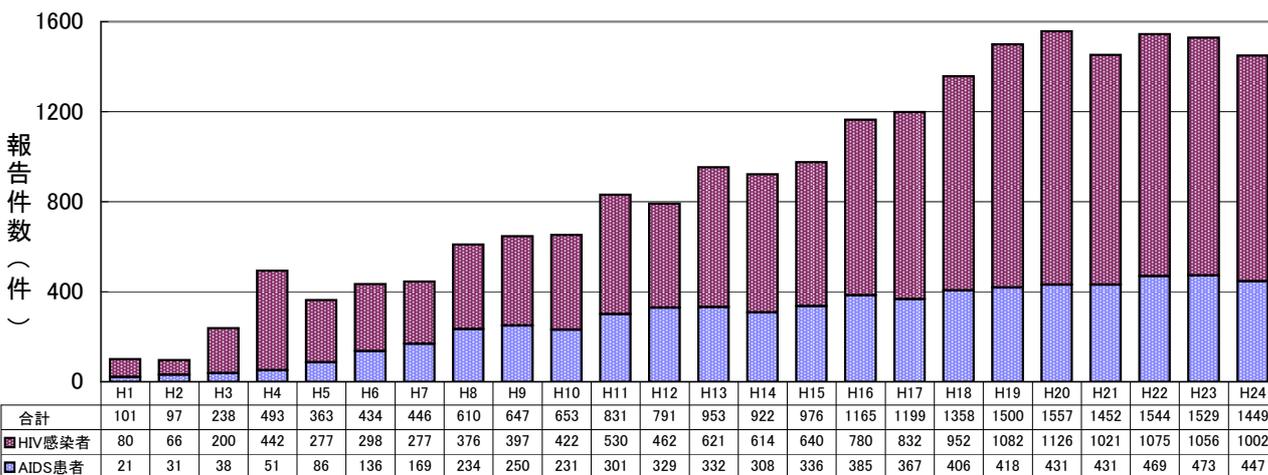
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



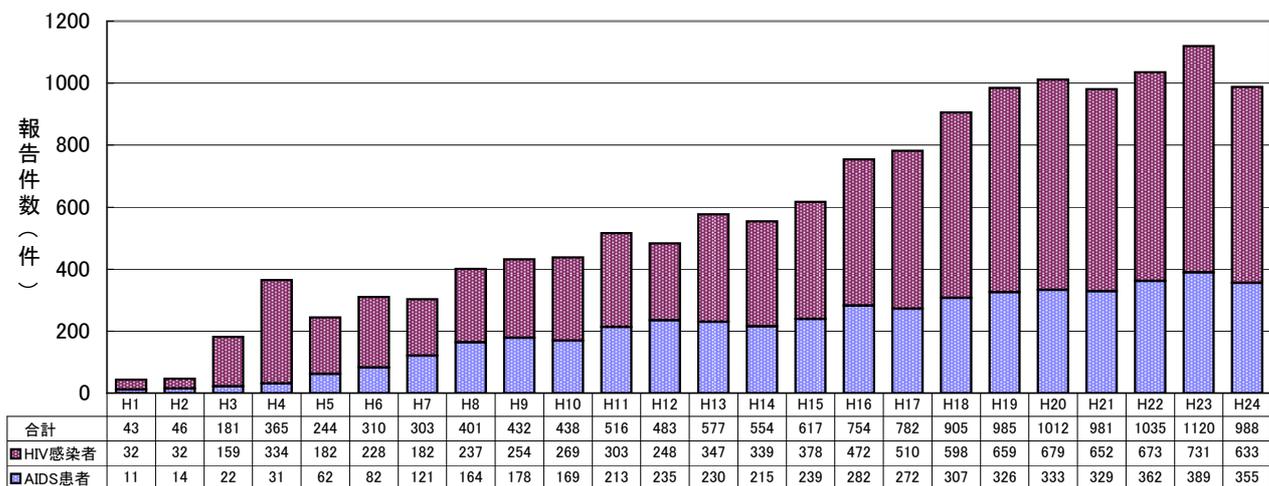
東京都におけるHIV感染者報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年に比べ、44件増加した。AIDS患者報告数は平成23年には減少したものの、平成24年は増加した。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成23年より横ばいに転じている。AIDS患者報告数は昨年に比べ減少したが、報告総数の約3割を占める状況は続いている。

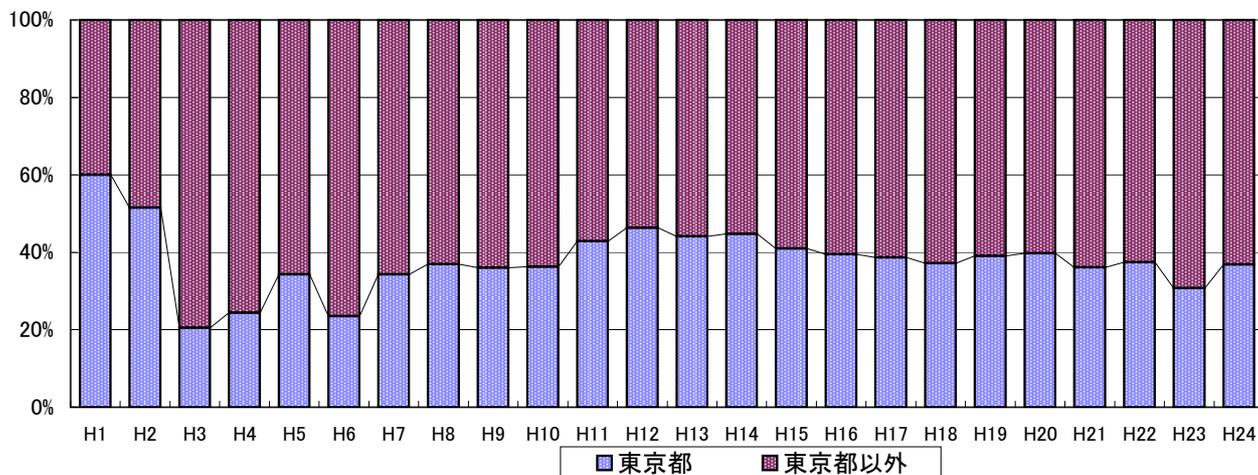
1-7
東京都以外の
HIV感染者とAIDS患者
報告数年
次推移



平成24年、東京都以外においては前年に比べ、HIV感染者、AIDS患者報告数ともに減少した。

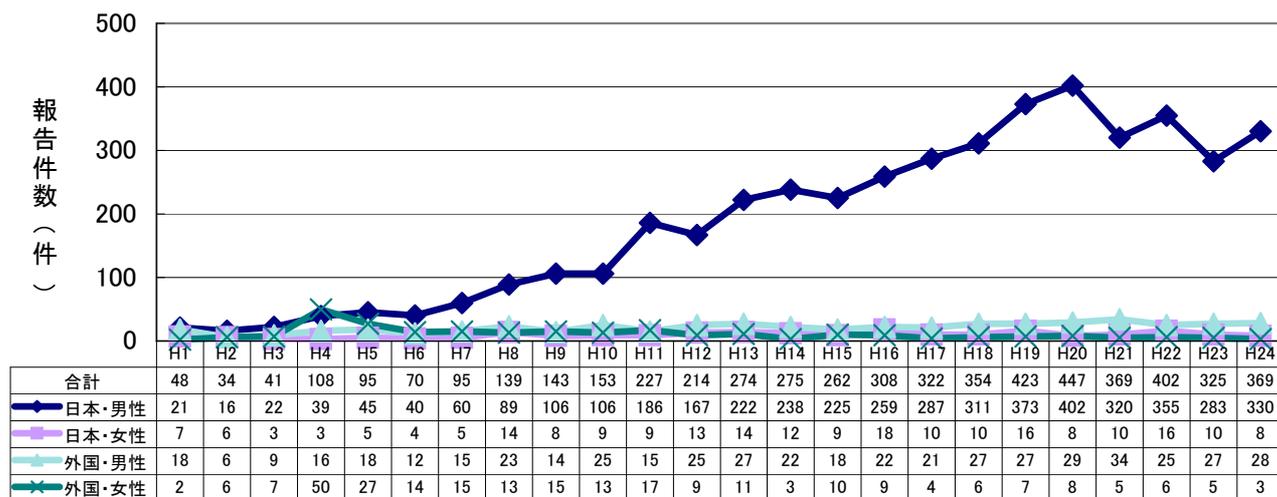
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



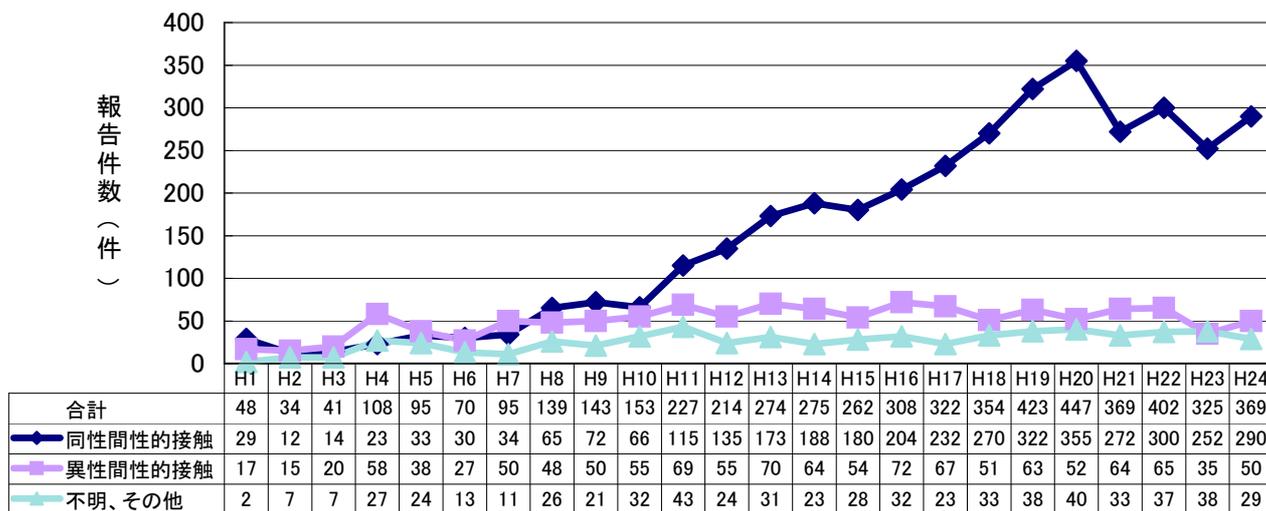
東京都のHIV感染者報告数は、近年、全国の4割弱で推移しており、平成23年は一旦3割に減少したが、平成24年は再び4割弱となった。

1-9
東京都の
HIV感染者
の国籍別・
性別報告数
年次推移



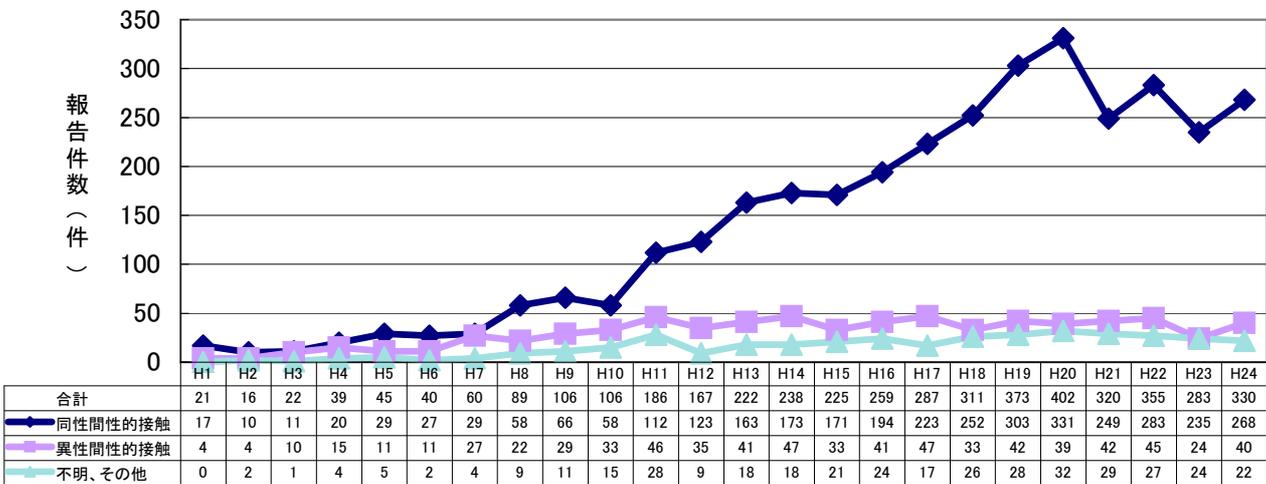
日本国籍男性の報告数は平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年に比べ、47件増加している。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



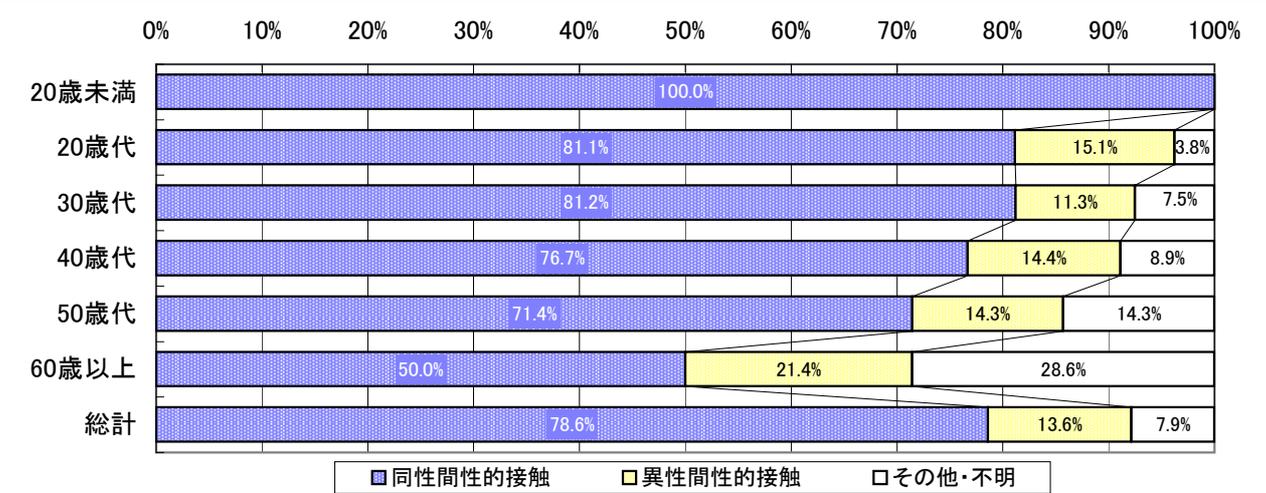
同性間性的接触の報告数は、平成20年まで年々増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年に比べ、38件増加した。異性間性的接触の報告数は平成23年には一旦減少したが平成24年には再び増加した。

1-11
東京都の日本国籍男性
における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



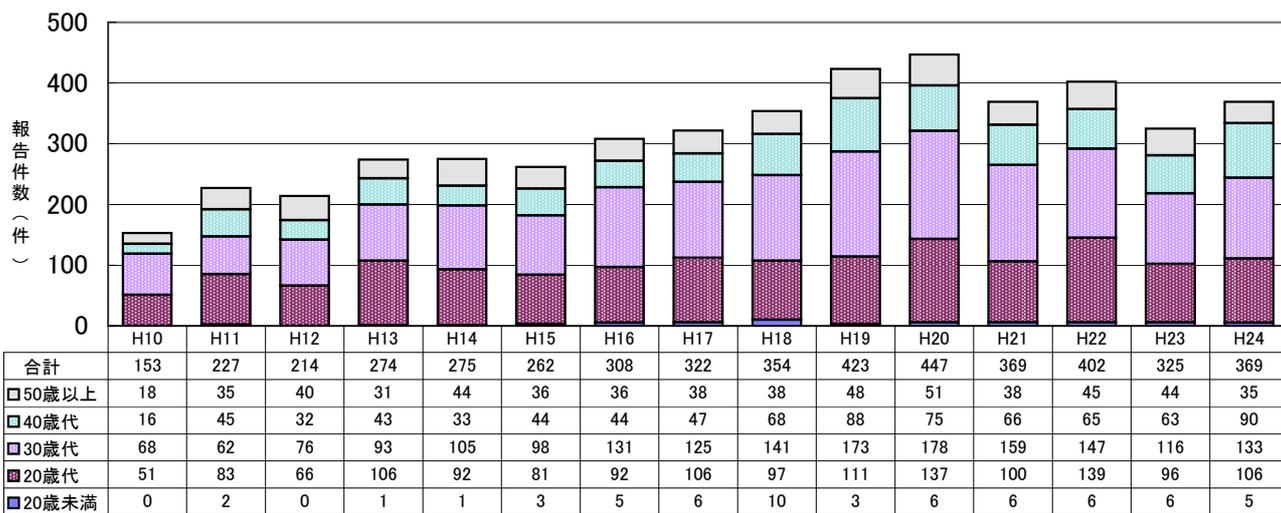
HIV感染者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成16年以降同性間性的接触の報告数が増加していたが、平成21年以降は増減しており、平成24年は前年に比べ、33件増加した。一方、異性間性的接触の報告数はこの数年は横ばい傾向であったが、平成24年は、一旦減少した平成23年に比べ、16件増加した。

1-12
東京都の
HIV感染者
の年齢別・
推定感染経
路別報告数
(平成24年)



同性間性的接触による感染の割合が全ての年代で最も高く、全体では8割弱を占めている。

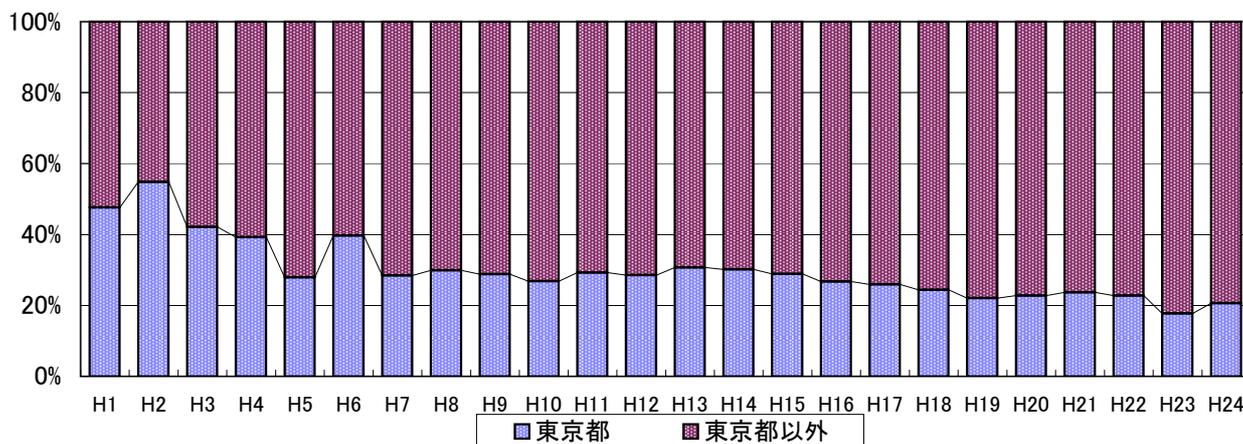
1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



平成24年は、50歳以上の報告件数が減少し、20歳代、30歳代、40歳代の報告数が増加した。20歳未満の報告件数は横ばいであった。

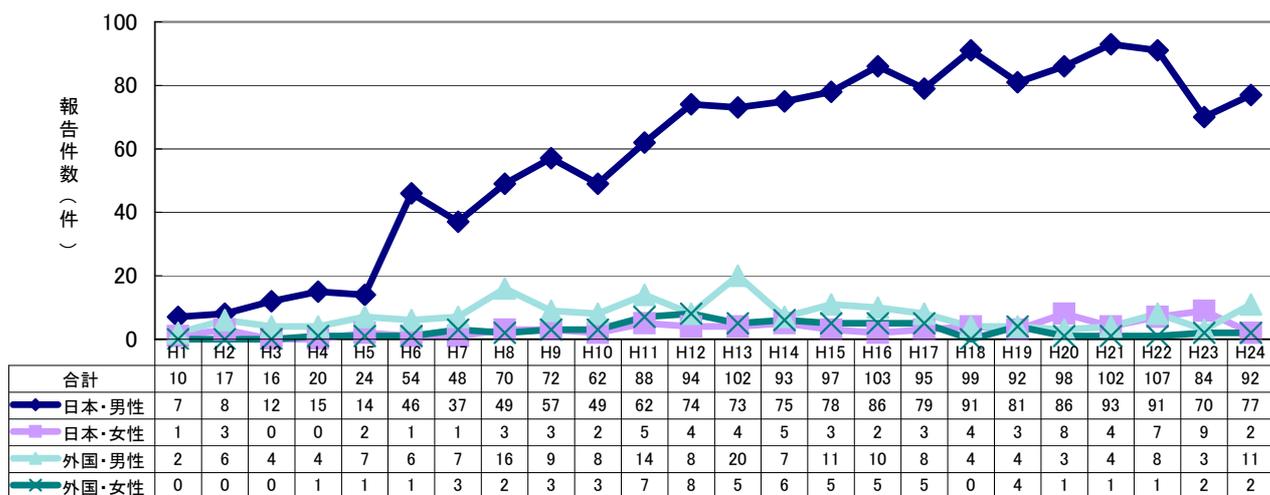
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占め
る東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



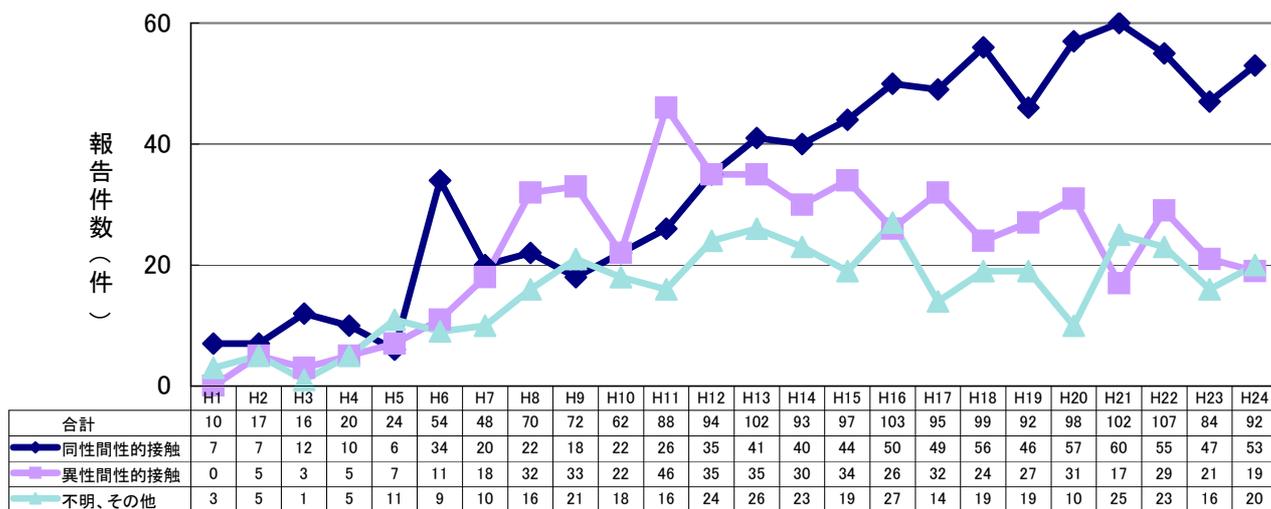
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の約4分の1で推移してきたが、平成23年、平成24年は約2割となっている。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



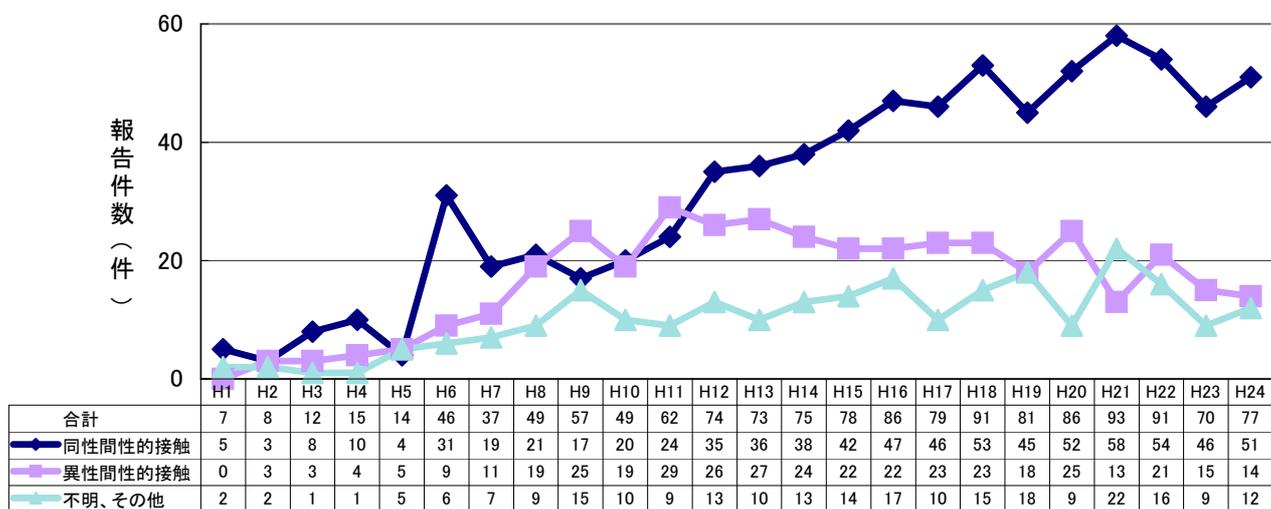
日本国籍男性の報告数は、平成8年以降増加傾向であり、平成23年に一旦減少したものの、平成24年は再び増加に転じた。また、外国籍男性の報告数も増加した。一方、日本国籍女性の報告数は減少した。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



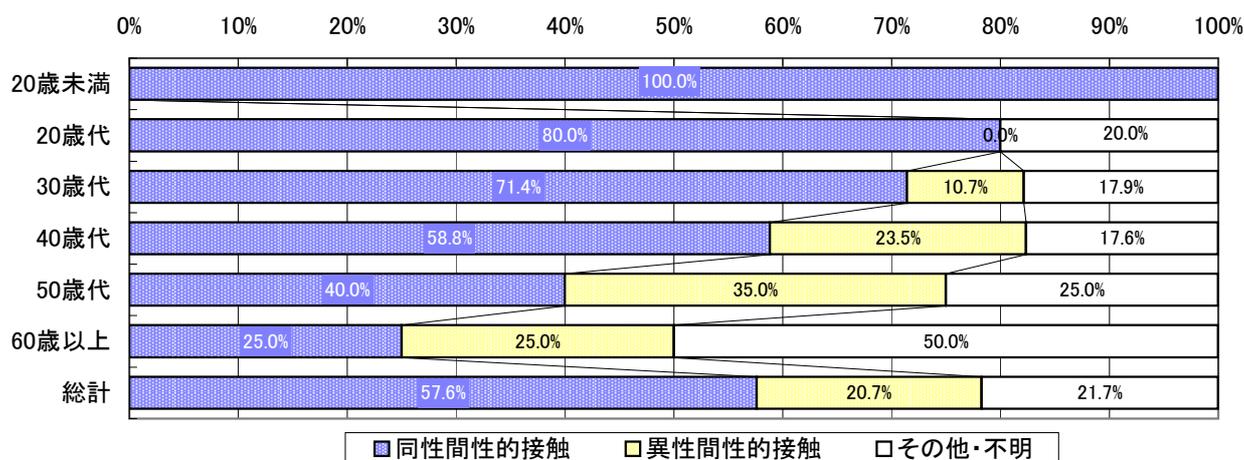
平成13年以降、同性間性的接触の報告数が、異性間性的接触の報告数を上回っており、平成24年は更に増加に転じた。

1-17
東京都の日本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



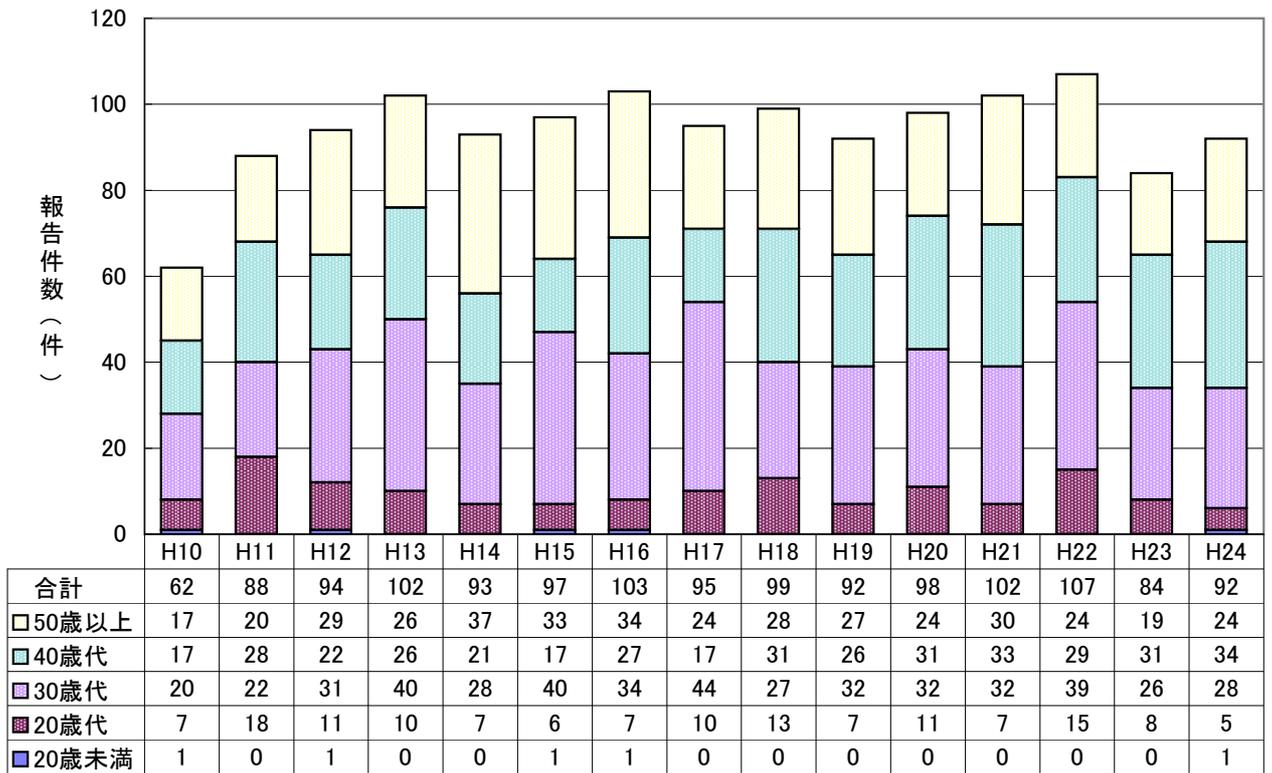
AIDS患者報告数の多い日本国籍男性でみると、平成12年以降、常に同性間性的接触の報告数が異性間性的接触の報告数を上回るようになっており、平成24年は更に増加に転じた。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告数
(平成24年)



20歳代から50歳代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触の割合が高くなっている。60歳以上では、異性間性的接触と同性間性的接触の割合は同じである。

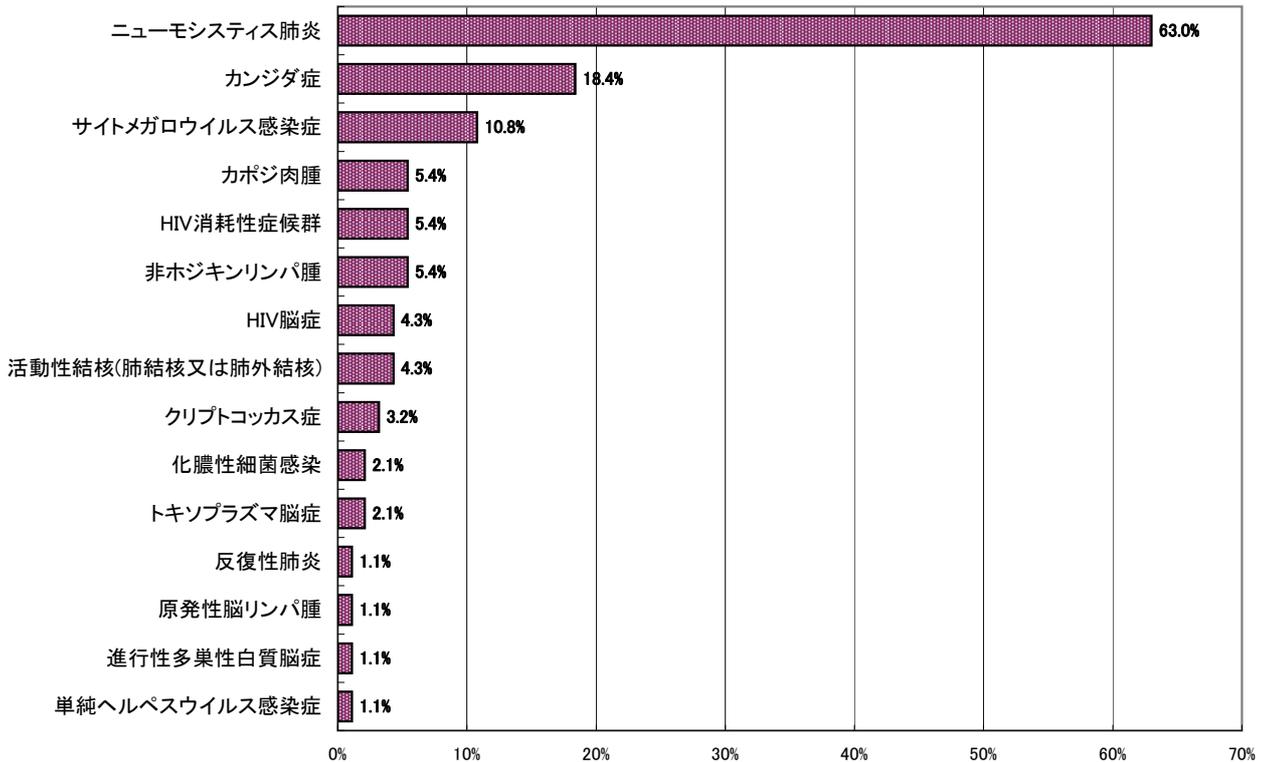
1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



30歳以上の報告件数が多く、この傾向が続いている。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患
(平成24年)

* 複数回答

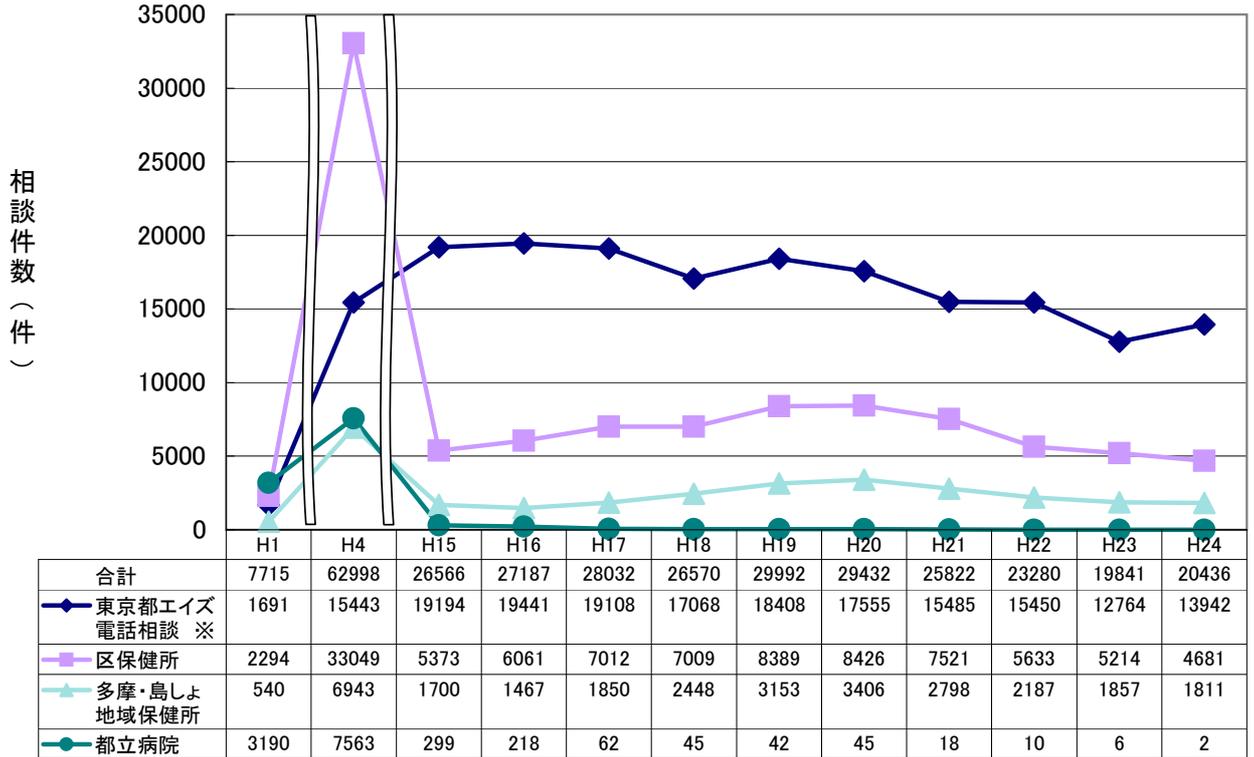


平成24年にAIDSと報告された者の約6割が、ニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いで、カンジダ症、サイトメガロウイルス感染症の順でAIDSと診断されている。

2. 相談・検査・療養体制

[エイズ電話相談]

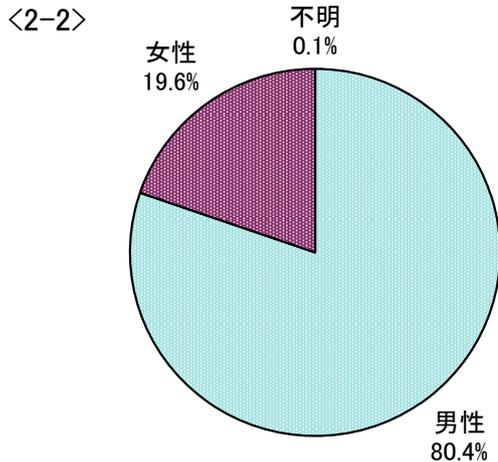
2-1
東京都のエイズ電話相談件数年次推移



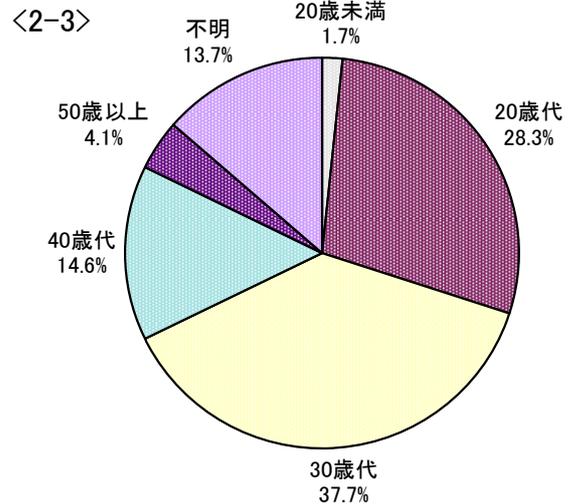
※平成10年以前の「東京都エイズ電話相談」件数には、エイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。また、八王子市(平成19年4月より)、町田市(平成23年4月より)は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていたが、平成20年以降は減少傾向にある。平成24年については、東日本大震災の影響を受けた前年より増加したが、減少傾向は続いている。

2-2
「東京都エイズ電話相談」における相談者の性別(平成24年)



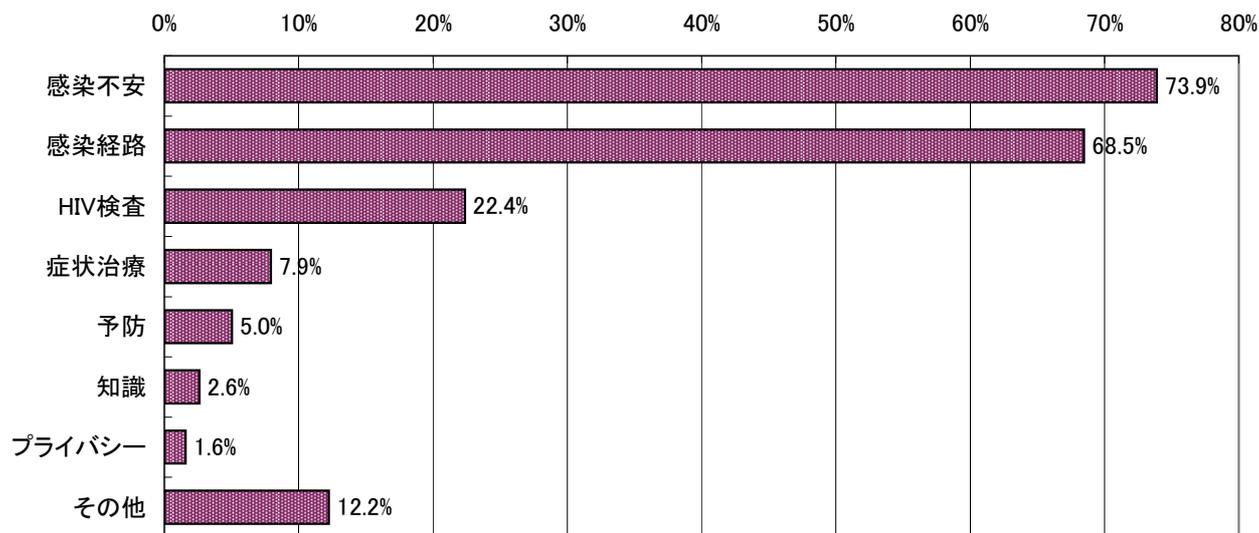
2-3
「東京都エイズ電話相談」における相談者の年齢(平成24年)



性別については、約8割が男性であった。年齢別に見ると20歳代・30歳代が多くなっている。30歳代以下の相談者が7割近くを占めており、ここ数年この傾向が続いている。

2-4
「東京都エイズ電話相談」の相談内容
(平成24年)

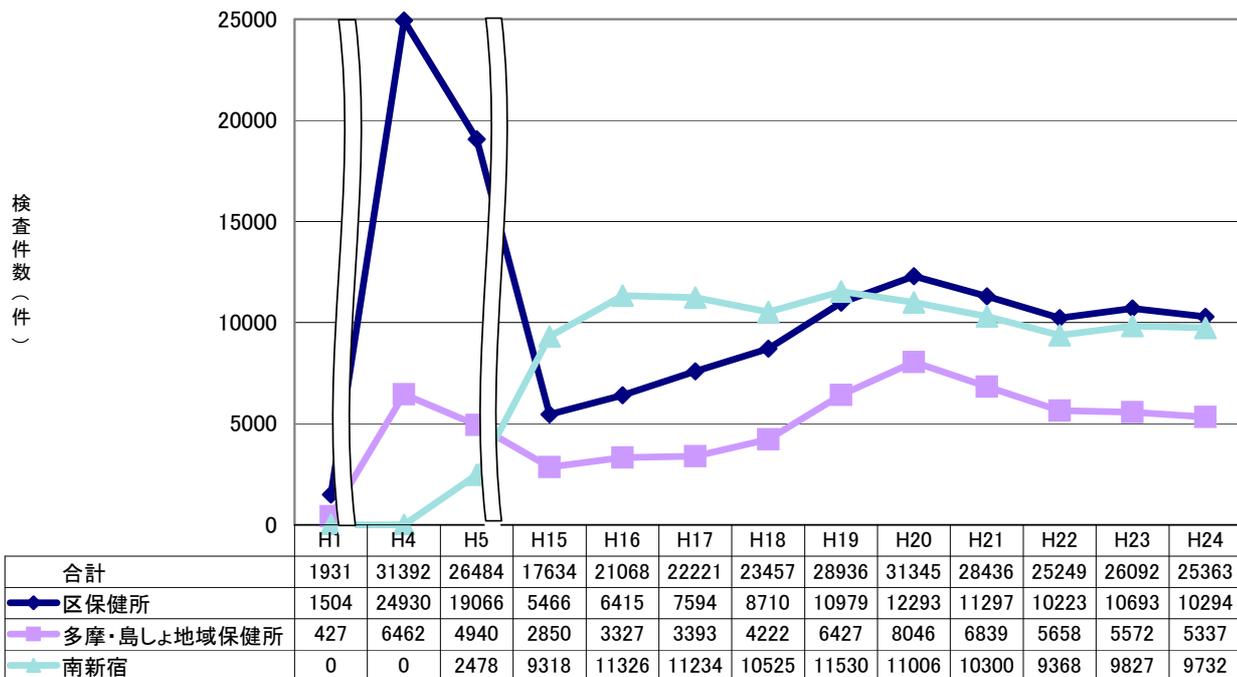
* 複数回答



東京都エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が最も多く、次いで感染経路となっており、ここ数年この傾向は変わっていない。なお、1回の相談で内容が多岐に渡ることも多いため、相談内容を複数計上している場合もある。

[HIV検査]

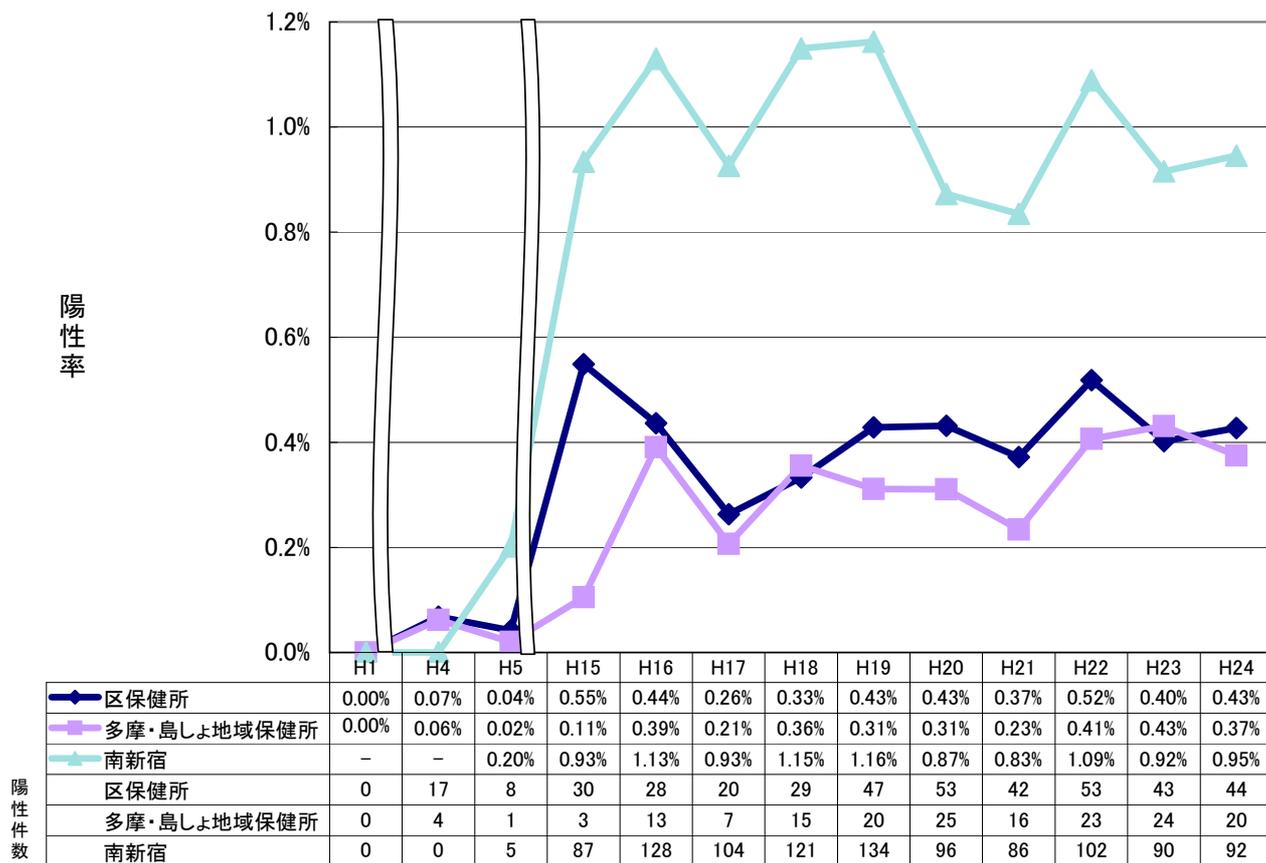
2-5
東京都のHIV検査件数
年次推移



都内保健所（区保健所、多摩・島しょ地域保健所）の検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、その後横ばいの状況が続いていた。平成15年以降は再び増加していたが平成20年をピークに減少に転じ、平成23年は2年ぶりに増加したものの平成24年は前年より減少した。多摩・島しょ地域保健所では、多摩府中保健所での検査開始（平成19年）、多摩地域検査・相談室の毎土曜日実施の定着により増加していたが平成21年より減少に転じており、平成24年は前年比約4.2%の減少であった。区保健所では、港区での委託検査開始（平成20年）などの動きもあり増加した後、平成21年より減少しており、平成23年は増加したものの平成24年は前年比約3.7%減少した。

南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年より増加し、平成16年からは1万1000件前後で推移した後、平成19年をピークに減少傾向が続いており平成23年は増加したものの平成24年は前年比約1%減少した。平成24年の検査件数合計では、前年比約2.8%の減少であった。

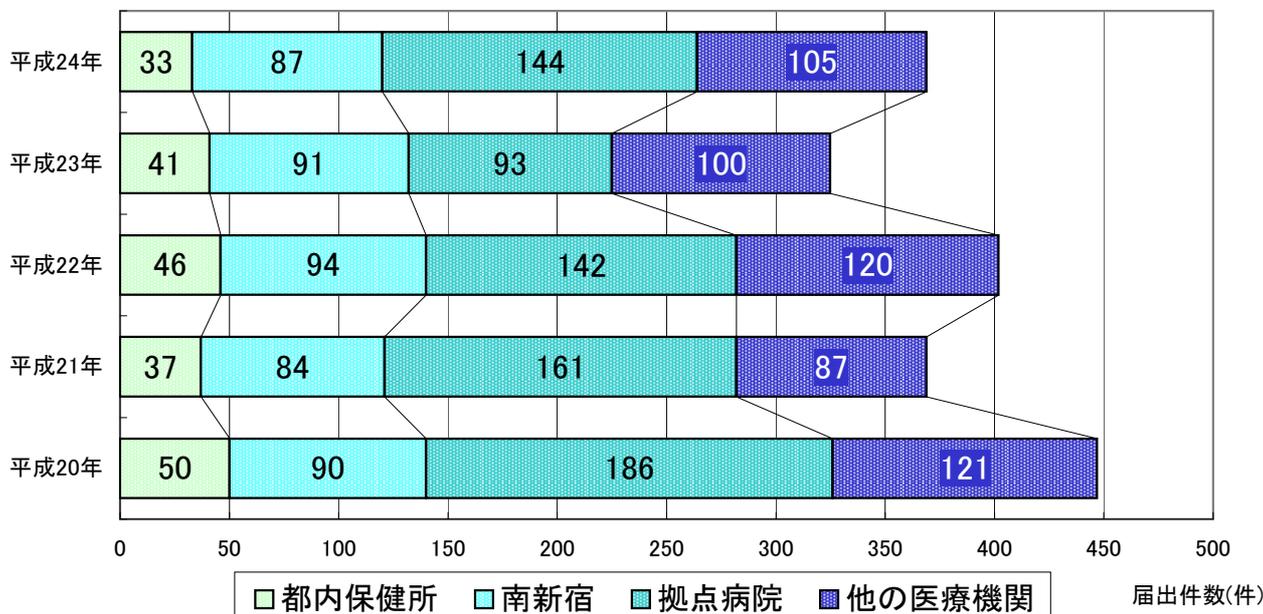
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



平成24年は、区保健所及び南新宿検査・相談室で、陽性件数、陽性率ともに、前年と比べ増加した。一方、多摩・島しょ地域保健所は、陽性件数、陽性率ともに減少した。

[医療機関]

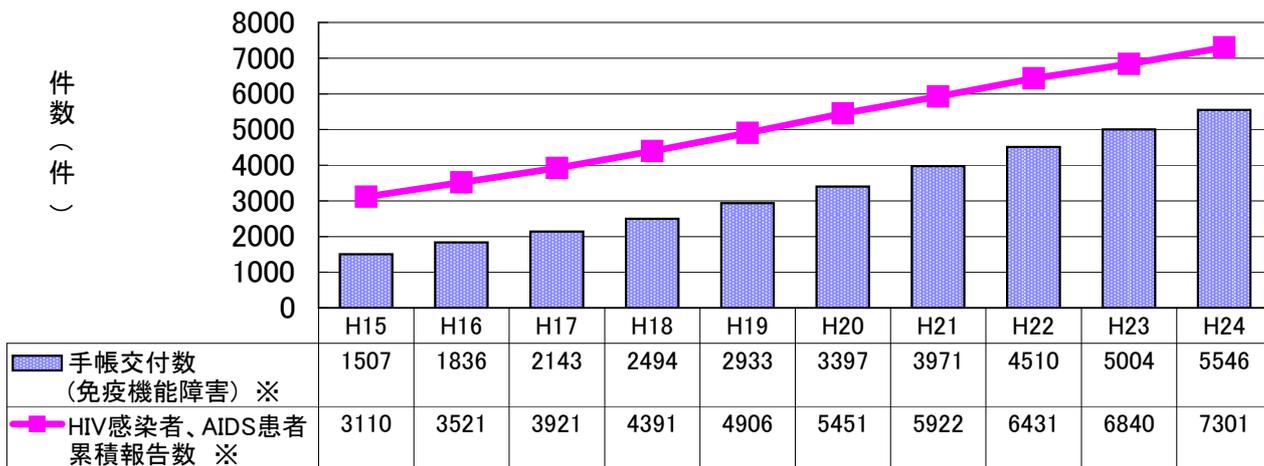
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成20年
～平成24
年)



平成24年の特徴は、検査機関（都内保健所、南新宿検査・相談室）からの届出件数がこの5年で最も少なく、医療機関（エイズ拠点病院、他の医療機関）からの届出件数が増加したことである。特に、エイズ拠点病院からの届出件数が約5割増えている。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
HIV感染者、AIDS患者
累積報告数と身体障害者手帳
(免疫機能障害)交付
数年次推移



※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成24年末時点では、HIV感染者、AIDS患者累積報告数の約4分の3が手帳の交付を受けている。

[性感染症検査]

2-9
東京都内の
保健所、東京都南新宿
検査・相談室での性感
染症検査件数と陽性件
数 (平成24年)

		梅毒				淋菌		
		検査数(LA)	検査数 (TPHA)	陽性数	陽性率 (陽性数/LA)	検査数	陽性数	陽性率
区保健所	男	2,959	1,446	79	2.7%	649	5	0.8%
	女	1,753	885	7	0.4%	423	0	0.0%
多摩地域保健所	男	1,451	1,451	30	2.1%	1,071	4	0.4%
	女	835	833	3	0.4%	612	12	2.0%
南新宿	男	1,607	112	71	4.4%	-	-	-
	女	688	1	1	0.1%	-	-	-
合計	男	6,017	3,009	180	3.0%	1,720	9	0.5%
	女	3,276	1,719	11	0.3%	1,035	12	1.2%
		9,293	4,728	191	2.1%	2,755	21	0.8%

		クラミジア				
		検査数	陽性数(IgA)	陽性率(IgA)	陽性数(IgG)	陽性率(IgG)
区保健所	男	3,141	410	13.1%	374	11.9%
	女	1,815	324	17.9%	383	21.1%
多摩地域保健所	男	1,449	219	15.1%	324	22.4%
	女	830	220	26.5%	293	35.3%
南新宿	男	1,604	189	11.8%	304	19.0%
	女	687	106	15.4%	166	24.2%
合計	男	6,194	818	13.2%	1002	16.2%
	女	3,332	650	19.5%	842	25.3%
		9,526	1468	15.4%	1844	19.4%

梅毒の陽性率は男性が高く、クラミジア、淋菌の陽性率は女性が高い。また、昨年と比べると、陽性率は梅毒、淋菌、クラミジアともに横ばいである。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2011年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2012年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,400万人 (3,140-3,590 万人)

HIV感染者報告の累計数

14,706人

2011年における新規HIV 感染者数 (推計値)

250万人 (220-280 万人)

AIDS患者報告の累計数

6,719人

2011年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

170万人 (150-190 万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査 (匿名・無料・電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午後3時30分から午後7時まで
土・日 (祝日を除く) : 午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査 (匿名・無料・予約制及び先着順)

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金 (祝日を除く) : 午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前10時

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日 (祝日を除く) : 午前12時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金 : 午前9時から午後9時まで、土・日・祝日 : 午後2時から午後5時まで)

※エイズに関する相談・検査 (匿名・無料) は各保健所へ (一部性感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp